

# ジェンダー主流化の推進

資料5

ジェンダー主流化を県の施策に反映させ、埋もれていた男女各々の視点を取り入れた取組を進め、誰もが暮らしやすい埼玉県を目指す

## ジェンダー主流化とは

あらゆる施策において、固定的性別役割分担、性差別、偏見等が社会的に作られたものであることを意識する視点を取り入れることで、一つの施策が結果として男女間で格差をもたらしていないかを点検し、施策効果の向上を図るもの

令和5年度

全庁展開に向けて手法を確立するため、幅広い県政の分野から5つのモデル事業を選定して事業点検を試行

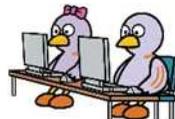
- ・ ジェンダーの視点に立った災害対応(危機管理防災部)
- ・ 新規農業者の育成・確保(農林部)
- ・ 男性職員の育児休業の取得促進(総務部)
- ・ 女性の創業支援(産業労働部)
- ・ 都市公園施設の整備(都市整備部)

令和6年度

## 1 ジェンダー主流化の全庁展開

- 1 職員の理解促進 全職員を対象とした動画による研修
- 2 事業点検

対象：あらゆる施策  
点検手順



- ①ジェンダー主流化事業点検シートに基づき、事業を点検
- ②男女間格差を把握するとともに、要因を分析
- ③格差の解消を図る取組を実施

## 2 市町村・企業における理解促進

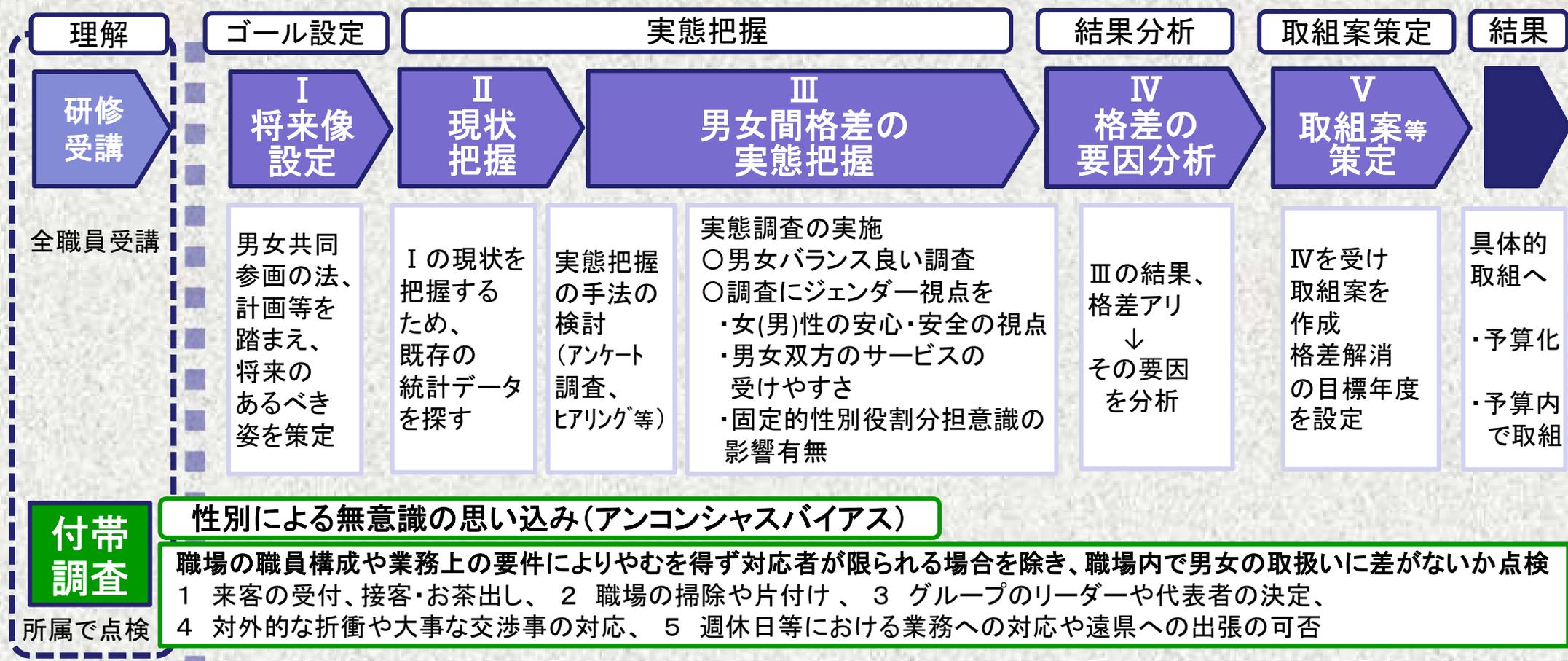
- 1 トップセミナー（10月～）
  - ①企業幹部向け 10/21
  - ②市町村長向け
- 2 実務者セミナー（11月～2月）  
市町村、企業担当者向け



埼玉県におけるジェンダー平等を目指す

# ジェンダー主流化による事業点検（フロー）

- 点検手順はJICA事業における「ジェンダー主流化のための手引き」\*を活用。
  - \* 運輸交通、保健、基礎教育、農業、防災等、12分野におけるジェンダー主流化のためのツール
- 各行政分野においてジェンダーの視点から課題とニーズを把握し、必要な取組等の検討を行う。



# ジェンダー主流化事業点検の課題

## 事業点検の課題分析

- 1 事業の性質に応じた点検の適否
- 2 職員の更なる理解
- 3 点検の支援上の課題

事業点検が施策効果向上のツールとなるよう、標準化を目指し取り組んでいく

職員向け研修の継続、職員ポータルサイトの充実、  
ヒアリングによる事例の収集や課題分析などを行う